

同行二人、お大師様と歩む清らかな人生 はすの会 会報 No.43

平成24年(2012年)2月20日発行/平成8年(1996年)11月1日初版発行

別格本山持明院はすの会事務局編集

大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル9階

電話 (06) 6348-0530 FAX (06) 6348-0170

ホームページ: www.hasunokai.jp

メールアドレス renraku@hasunokai.jp



高野山開創千二百年 大法会 カウンタダウン開始

平成27年4月2日
〜5月21日

だいほうえ

高野山は今から約一二〇〇年前の弘仁7年(816年)、弘法大師により開かれました。

そこで三年後の平成27年(二〇一五年)には、4月2日から5月21日にかけて『開創一二〇〇年記念大法会』が開かれます。そのため高野山の各所では今からその準備に追われています。

中でも目玉事業と言えるのが、『中門』の復活です。

現在この中門は、昔の火災によって跡形もなく残っていません。わずかに柱を支えていた礎石だけがその名残りをとどめています。

そこで、一二〇〇年記念はそれを復活させる、ということと、現在工事が進められています。

高野山といえば「大門」が有名で

すが、大門は高さが25mなのに対し、中門は少し低い16mとなります。場所は霊宝館の前、壇上伽藍の傍らになります。

最初の中門は、高野山が開創した3年後の弘仁10年(819年)にはすでに建立されておりました。しかし長い歴史の中で火災が何度もおき、そのたびに再建してきた



霊宝館側から見た様子。建物全体が覆われているため天気に関係なく工事が進められている。



伽藍側は透明なため工事の様子がよく見える。期間限定の観光スポットとして注目されている。

ものの、直近では天保14年(一八四三年)の火災以降はそのままに置かれておりました。今回170年ぶりの再建です。

工期は4年弱と長期におよびますが、日本でも有数の仏閣建築とあって、いつでも誰でも建立の様子が見学できる工夫がなされています。そして最近では、滅多に見ることができない仏閣建築の現場としても多くの方が観光に訪れています。

皆様にもぜひ一度ご覧になっていただきたいと強く願っています。

目に見えないものを大切に

「はすの会」会員の皆様には、佳きお年をお迎えになられたこと心よりお慶び申し上げます。

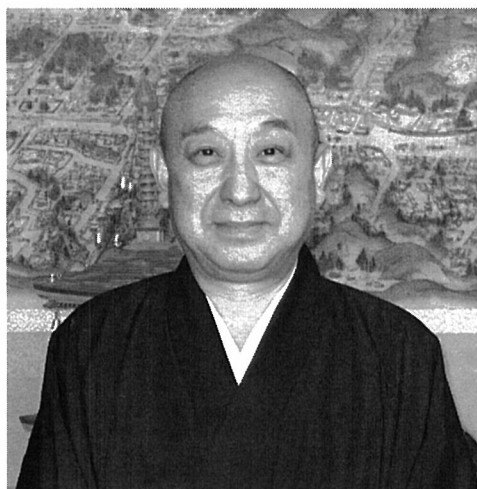
間もなく三月の合同法要が開催されますが、三月と言えば昨年、東日本大震災による未曾有の大災害がありました。そして九月には、ここ高野山もある紀伊半島で台風12号による大水害があり、多くの尊い命が奪われた年となりました。

私も僧侶も、亡くなられた諸霊への祈祷と復興への祈りに明け暮れた一年でございました。

ただ、これだけの大災害の中でも、唯一の救いは、昨年一年を象徴する漢字が「絆きずな」であるように、多くの日本人が人と人とのつながりの大切さに気付かされたことではないでしょうか。

国をあげての物心両面での支え合いは、忘れかけていた人達にもう一度「心と心の結びつき」の大切

別格本山持明院
住職 竹内崇雄



さを思い出させてくれたように感じます。

これを契機に、慈愛や思いやりの心など、『目に見えないもの』を大切にする日本固有の気持ちが再び育つてくれればと切に願います。

本年も、皆様方のご祖霊の御冥福とともに、引き続き被災地・被害者の方々への祈りを捧げ続けて参ります。

(合掌)

『随所に主となる』

・はすの会代表・上善賞二

私はこの言葉を、生きていく心得としてとても大切にしています。

作者は臨済宗の開祖、臨済義玄りんざいぎげんで、「味の素」元会長・江頭邦雄氏えがしらくにおが座右の銘として新聞で紹介されておりました。「どこにあつてもその場所で目いっぱいの仕事をし、自らに誇れる足跡を残す」という意味だそうです。

私は不遇の折、やり場のない気持ちをもて余しておりましたが、このことばに出会って以来、随分助けられてまいりました。

- ・仕事は決して受け身でやらない
- ・どんな環境や地位にあつても、自らが主となって最善を尽くす
- ・仕事は誰よりも上手く、そして楽しく働く

ぜひ会員の皆様も『随所に主』となつて楽しい日々をお過ごしになられますようお祈りいたします。

書籍の紹介

「シャーロック・ホームズはiPadで発想する夢を見るか？」

会員の大野浩様の本をご出版されました。

大野様の本はこれで二冊目なのですが、どちらもテーマは『企画の立て方』で私たち社会人にとつて「人にわかりやすく説明する」ときの参考になる本です。

しかも今回は、「お坊さんほどのように物事を発想するか」というコーナーがあり、はすの会と懇意にさせていただいている先達の田尾秀寛様しゅうかん(常徳寺住職)をご紹介しインタビュー記事にしたことで面白い内容となっております。

ぜひご一読をいかがでしょうか。



日刊工業新聞社・発行
¥ 1,470

はすの会・会員便り

お大師様との御縁をいただき命を助けられた事

兵庫県川西市・中川千枝子様(70代)

私達がお大師様を知りましたのは、平成22年の毎日新聞社主催の「バス見学会」に妹と参加させて頂いたことが始まりでした。

持明院で昼食に美味しい精進料理を頂いた後、「佛舍利宝塔」にお参りさせて頂きご説明をお聞きしました。

その時まず感じましたのは、お大師様と同じお部屋で毎日お経を聞かせて頂き眠りたい、ということでした。

私達には跡継ぎがなく、亡父や御先祖様をお祀りし無縁仏にしてはいけないと思っておりましたので、どこか永代供養を頂けるお寺は無いものかと常々考えておりました。

見学会の後も永代供養をしていただけのお寺をいくつか廻りましたが、やはり持明院に願ひする

ことに決め、父の祥月命日である

12月17日に妹と持明院に行かせて頂き御縁をいただきました。

そして御縁を頂いた日から十日後、12月27日に妹が交通事故に遭いました。

夜6時頃いつものようにスポーツクラブへ二人で向かう途中、妹が車に跳ねられました。

妹はその時両手で頭を抱え込みましたので頭を打たなくて済んだのですが、両足は前輪の間に入り顔は車から10cmくらいの所にあり、私は大きな声で「お大師様に助けられた」と叫んでおりました。

救急車で病院に運ばれ、右膝はヒビ割れ腰は三ヶ所の圧迫骨折で絶対安静という事で入院しました。

お正月の1月4日に警察官が病院にこられました。今回は加害者が一旦停止せず前方不注意で貴女達には何の落度もありません。ただ、もしもう少しスピードが出ていればお二人共跳ねられて

いたでしょう。それだけの事故で済んだのは本当に良かったです」と話されておりました。

私も、あの事故現場では考えられない位の怪我で済んでよかったと思いますし、もしお大師様との御縁を頂いていなければきっと命が無かつたのではないかと思います。

お大師様はじめ持明院、そして「はすの会」でお世話をいただいている皆様と本当によい御縁を頂きました事はこの上ない幸せと存じます。

これからもよろしく願いいたします。

(合掌)

・スタッフより・

事故から一年が過ぎた現在は、妹さんはもう無事に回復され、今では以前と同じようにお二人でスポーツクラブに通われているそうです。

私達スタッフも無事であったことを心より喜んでおります。

宮田さん退任される

持明院に永らく勤められていた僧侶の宮田諦俊たいしゅんさんが昨年12月末に退任されました。

二人目のお子様がお生まれになったことをきっかけに、さらに修行をご実家の聖しょうりんじ臨寺(愛媛県)に戻つてするためだそうです。

四年間のお勤めの間には「はすの会」の供養を数多くこなしていただいたことはもちろんのこと、私たちがスタッフにもたくさんのご指導をいただきました。お別れは残念ですが、新しい場所でのさらなるご活躍をご期待いたします。

高野山・東日本大震災 義捐・支援金ご協力をお願い

郵便振替

口座名 高野山真言宗特別災害寄金

口座番号 00970-1-43975

※東日本大震災と明記ください。

「高野山真言宗災害対策本部」

和歌山県伊都郡高野町高野山132

高野山真言宗 社会課(連絡・平日 8:30~17:00)

電話 0736-56-2013

Fax 0736-56-2226

Email shakaika@koyasan.or.jp

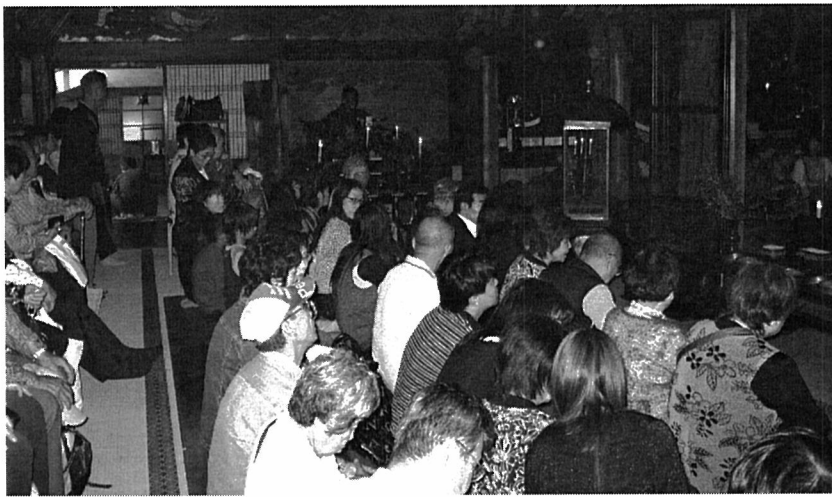
春季合同法要のご案内

高野山にも

春が訪れようとしております。

今年も皆様ぜひ

お参りにお越しください。



◆日時

平成24年3月25日(日)

12時30分より

(集合12時15分)

◆場所

持明院・本堂

◆法要料(参加費)

無料 (ご希望によりお布施は受け付けております)

◆ご参加

自由・予約不要

◆佛舍利宝塔の参拝時間

午前の部

10時～11時30分まで

午後の部

法要後～15時30分まで

●法要の時間は約40分で、その前後に仏舎利のお参りもできます。

●ご親族だけでなく、ご友人などもご参加いただけます。

●当日は12時30分ちようどから始まりますので、15分前までにお越しください。

●持明院には駐車場がありますが、台数に限りがございますので、できるだけ電車・バスでお越しください。

南海電鉄「こうや号」の特急券は、一ヶ月前から予約できます。

●高野山は山下より温度が下がりますので、冷えやすい方は念のため羽織るものをご持参ください。

●持明院でご昼食をご希望される場合は、ご予約が必要です。

お一人様2,100円(精進料理)
お子様向けもご用意できます

●持明院は宿坊もしております。どうぞご利用下さい。

宿泊・大人一名8,400円

南海電鉄 時刻表 (3/1~11/30 土日祝専用)

		難波 発	高野山 到着
行	き	8:00 (特急・こうや1号)	9:33
		8:12	9:57
		9:00 (特急・こうや3号)	10:34
		9:02	10:45
		9:24	11:06
		10:00 (特急・こうや5号)	11:32
		10:02	11:53
		10:24	12:07
帰	り	高野山 発	難波 着
		13:39	15:24
		14:03	16:02
		14:40	16:24
		15:03	17:02
		15:19 (特急・こうや10号)	16:50
		15:45	17:36
		16:20 (特急・こうや12号)	17:50
	16:31	18:24	

※特急は「極楽橋」駅まで直通。その他は「橋本」駅で乗り換え。

編集後記

今回の会報はいかがでしたでしょうか。事務局ではご意見、ご感想、投稿記事を募集しております。

ホームページには紙面の都合で載せられなかった各スタッフの編集後記も掲載しております。あわせてご覧下さい。

別格本山持明院「はすの会」事務局

住所 大阪市北区梅田1-3-1

大阪駅前第一ビル9F

電話 06-6348-0530

FAX 06-6348-0170

メール renraku@hasunokai.jp

HP www.hasunokai.jp